

なお、われわれは、今回の報告も含めて、ブドウ球菌対マウスの定量化を行っているが、このような考え方は単にブドウ球菌対マウスに限定されたものでなく、他の菌対動物の関係にも応用できるだろうと考えている。

## 27. サイ (Rhinoceros) の結核例について

高木静雄 野田周作 広直武司  
近藤正熙 (大阪府大)

大阪府下某動物園飼育のサイ (♂) が昭和 36 年 1 月頃から呼吸促迫、採食緩慢等の症状を現わし、同年 6 月頃より斃死に至るまで毎早朝鼻汁を漏出するようになった。この鼻汁について、検査を行うと毎回多数の抗酸性菌が鏡検並びに培養によって認められた。これら培養によって生じたもののうち大多数を占める R 型集落の 1 つと、偶々 1 つだけ発生した S 型集落の 2 種の抗酸性菌、並びに斃死時の膿性鼻汁から殆んど純粹の状態に分離されたレンサ球菌について細菌学的な検査を行ってみた。なお斃死サイの病理解剖所見では肺臓全葉にわたって大豆大ないし胡桃大の膿瘍が多発し、その内容は黄白色クリーム状を呈し、1 部は空洞化していた。分離抗酸性菌の中、R 型のは乾燥性、淡黄灰白色、イボ状に隆起し、その生物学的性状は、抗煮沸性 15 分、中性紅試験陽性、カタラーゼ試験弱陽性、ナイアシン試験陽性で、動物試験ではモルモットに対して病原性が強く、全身結核症が見られたが、兎に対しては接種局所に病変が留まるだけで、にわとりに対しては殆んど病原性が認められなかった。これより R 型の分離抗酸性菌は人型結核菌 (*Mycobacterium tuberculosis var hominis*) に属するものと思われる。また S 型のもは生物学的性状でもまた動物試験でも非病原性抗酸性菌の性状を示した。なお分離されたレンサ球菌はウサギ、馬及び山羊の血球に対して  $\beta$  型溶血性を示したがマウスに対して病原性は認められなかった。

## 28. 犬由来の抗酸菌について

### I, 野犬の肺門および腸間膜リンパ節における抗酸菌の分布

神蘭 稔 小堀 進 太田亨二  
中島俊雄 (日大農獣)  
浅見 望 (予研)

1960 年 7 月より 1961 年 6 月にわたり東京都荒川

犬抑留所で殺処分された一見健康と思われる犬 170 頭 (♂ 103, ♀ 67) の肺門リンパ節および腸間膜リンパ節より抗酸菌の分離を 4% NaOH で処理した後に 3%  $\text{KH}_2\text{PO}_4$  加小川培地で行った。

その結果、両リンパ節あるいはいずれか一方のリンパ節より抗酸菌が分離されたものは 33 頭 (19.4%) で、そのうち 4 頭 (2.4%) のもの、うち 3 頭は腸間膜リンパ節よりまた 1 頭は肺門リンパ節より人型結核菌が分離された。この 4 株の Kf 値は比較的高く 10~14 を示めし、ナイアシンテスト、ニコチンアミダーゼテストおよびウレアーゼテストは陽性でフォルムアミダーゼテストは陰性であった。さらに薬剤耐性試験では SM 100  $\gamma/ml$  以上で完全耐性のもの 1 株、不完全耐性 1 株、PAS 100  $\gamma/ml$  以上で完全耐性 1 株、10  $\gamma/ml$  で不完全耐性 1 株、INAH 10  $\gamma/ml$  で不完全耐性 2 株あった。またこの 4 株をモルモット (1 mg)、家兎 (10 mg) の皮下に接種すると、モルモットに対して強い病原性を示めし局所の膿瘍、リンパ節の腫大、肝、脾、肺に夫々の病変を認めたが、家兎では殆んど著変はなく、ただ 1 株のみ肺に病変を認めた。

## 29. 東北における牛ヨーネ病の 1 発生例について

佐々木 昇 古谷 武 佐野敬二  
海老洋一 松井光蘭 睦見 真  
旭 興正 (家衛試東北)  
根本 久 (家衛試)  
小原輝久 柴田芸平 萩野 克  
(奥羽種牧)

感染牛は、8 才、短角種、種雄牛で、昭和 31 年 8 月、アメリカより輸入後、直ちに青森県下の O 種畜牧場に繋養された。主な臨床症状は、陰囊、顎下の水腫、間歇的な激しい下痢、栄養の急速な低下、貧血であり、糞便に微量の血液を混じ、かつ多数の集塊状の抗酸菌を検出した。グロス反応は強陽性、ヨーネ病の補体結合反応、血球凝集反応は陽性、ヨーン皮内反応は疑陽性であった。剖検の特異病変は小腸、大腸の顕著な粘膜肥厚、波状皺襞の形成、淡い鉄錆色の着色。粘膜下織の軽度の浮腫である。組織所見では、空腸上部から直腸末部に亘る粘膜下織における類上皮細胞の増殖、および巨態細胞の少数出現で、これらの胞体内に抗酸菌が密集し、集塊状に存在した。膠原線維染色では、固有層の病巣部には変化なく、粘膜下織の病巣部には軽度の増殖あり、銀線維は類上皮細胞をと